

打込型枠MK3を使用の際に、適応機種的一般用マンホールカバーをクサリ付きとする場合の施工例

2025年3月26日 管理番号：MC1-2503262 製品分類：マンホールカバー

第一機材株式会社

打込型枠MK3を使用の際に、適応機種的一般用マンホールカバーをクサリ付きとする場合は、簡単な方法として下記記載「●施工手順」の通り施工してください。

打込型枠MK3の施工完了後に、Q&A「一般用マンホールカバーのクサリ取付方法」を併用していただくと、簡単に施工ができます。

「●施工手順」

マンホールカバー関連製品 打込型枠 (角枠・丸枠用)

●施工手順



1. 受枠を施工位置に置きアンカー孔位置に印を付ける。



2. レベルボルトをアンカー孔位置に釘止め固定する。



2.注 釘止めは、レベルボルト固定座の2重リング部で固定します。



3. 受枠をレベルボルトにセットし、ナットを回し仕上レベルに合わせる。

注 受枠をレベルボルトにセットしナットで固定する際は、受枠のレベル歪みに注意して施工してください。



4. 受枠に打込型枠を入れ、止め板を曲げ端部を固定する。

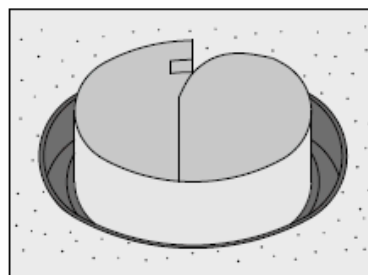


5. 固定座に釘打ちをし打込型枠を固定する。



6. 受枠周囲の溝にコンクリートが入らないよう養生材を押し込み取り付けを終了します。

※レベルボルト上部の余分な部分は切断してください。



7. 打込型枠の取り外し

- (1) 固定座の釘を抜きます。
- (2) 止め板をもとにもどします。
- (3) 打込型枠の端部を内側に曲げながらコンクリートからはがし、取り外します。

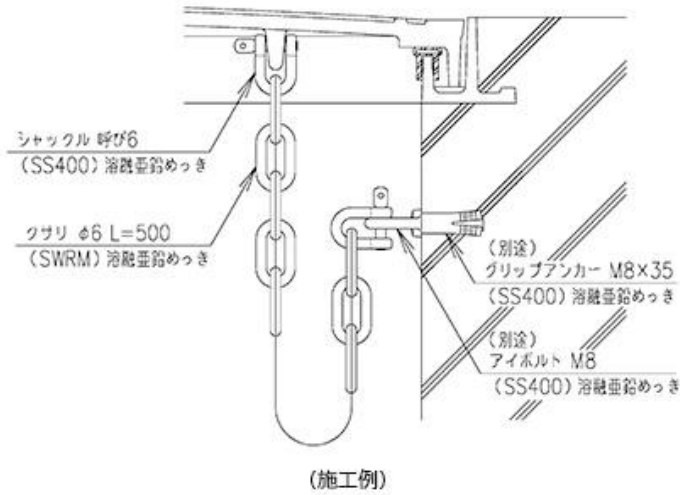
ていねいに取扱っていただきますと打込型枠は2～3回繰返しご使用いただけます。

「一般用マンホールカバーのクサリ後付け方法」

一般用マンホールカバーを施工後、クサリを取り付けする場合

蓋裏には、クサリ取付脚が付いてます。

躯体にあと施工金属アンカーを打込みアイボルトを使用し、両端シャックル付きクサリで連結が出来ます。



以上